

## 4、我が校の学ぶ力向上策

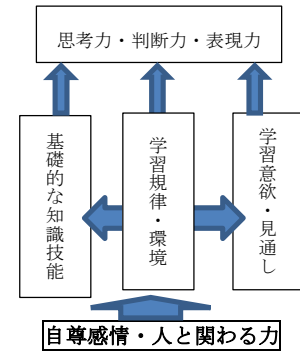
2017.4.1. 現在

### ①学ぶ力にかかわる課題 (28年度全国学力・学習状況調査より)

<p><b>国語</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識の習得に欠け、語彙量が少ない。</li> <li>・意味や理由を問われると答えられない。</li> <li>・獲得した知識を使いこなす力が弱い。</li> </ul>	<p><b>算数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活で使われている算数の活用力が乏しい。</li> <li>・学年段階での基本的知識・技能が未定着である。</li> </ul>
<p><b>学習状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身の力で課題解決しようとする意欲に欠ける。</li> <li>・地域に対する愛着は強いが、将来に対する希望を持ってない子が多い。</li> <li>・学ぶ目的意識が低く、受動的なスタイルの児童が多くみられる。</li> </ul>	

### 本校が捉える「学ぶ力」

主体的対話的に学ぶ子どもの育成



### ②これまでの取り組みの成果と課題

受け身の学習から能動的な学習にするため 2016 年度は以下について取り組んだ。校内研究の国語科を通じて『自力解決の時間、ペア・グループでの話し合う場を必ず設ける』『学習のゴールを明確にし、見通しを持たせ、次時への意欲をつなぐ予習を取り入れる』『学習を振り返り、自分でまとめを行う』を徹底し、一人学びを高め、話型を提示することで説明力を育成することができた。

校内研修では、児童理解と学級の実態を把握するために毎年QUテストを実施し、講師より指導を受け、学級づくりに反映できている。温かい学級づくりと肯定的な人間関係づくりに努められた。

### ③2017年度学ぶ力向上へのアプローチ

校内研究の推進を通じて授業改善に努める

#### 安心して学べる環境づくりの取り組み(本校の強みを更に高めるため)

- 自尊感情を高める学級づくり・学習基盤づくり → QUテストの実施と分析(講師を招いて)
- 学びのルールを徹底し、全校統一した授業形態。(こうか授業術5カ条を更に徹底)
- 甲南中学校区9年間を見通した共有実践 (ベル発の徹底)
- 学ぶことの意義づけを明確にする。(キャリア教育の推進)

#### 反復練習を要する学習内容の定着を高める(基礎学力を高めるために)

- 書く力を育てるノート指導の徹底
- 活力ある知識獲得活動や思考活動の取り組み(名文チャレンジ・算数チャレンジ)
- 基礎学力の定着を図る朝タイムの活用や家庭学習課題の取り組み

#### 基礎基本的な知識・技能の活用力を高める(学習の質を高めるために)

- ゴールを明確にした授業の展開 (やる気を持続するために)
- 学び合いを深める話型の提示と活用を他教科に広め深める。(説明力の向上)
- キーワード作文や定型作文や100字作文の継続実施 (思考力援助のために)
- 相互指名での話し合い活動、少人数での話し合い活動を必ず設ける。(練り合いの場)

評価について

- 学びの軌跡が蓄積できるよう掲示する。(他教科でも作成する)
- 毎学期に子ども・指導者アンケートを行い、成果を確認する。(よく分かる20P上昇へ)

### ④「学ぶ力」向上策の検証

学び確認テストによる検証と授業実践による学習事例の蓄積、学びのモデルとなる掲示物の提示カリキュラムマネジメントシートへの書き込みを通じて学年計画、6年間のつきたい力の検証を行う。